

2026年2月期 中間決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月15日
上場取引所 東

上場会社名 リサイクルテック・ジャパン株式会社
コード番号 185A URL <https://www.r-t-j.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 高取 美樹
問合せ先責任者（役職名） 取締役統括管理部長（氏名） 小山 昭美 TEL 052-355-9888
中間発行者情報提出予定日 2025年11月28日
配当支払開始予定日 —
中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
中間決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期中間期の業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

（1）経営成績（％表示は対前年同期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	1,136	△17.4	△77	—	△74	—	△89	—
2025年2月期中間期	1,376	△24.0	33	△74.0	34	△76.2	36	△56.9

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	△73.84	—
2025年2月期中間期	30.17	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期中間期	1,717	548	31.9	450.05
2025年2月期	1,632	638	39.1	523.89

（参考）自己資本 2026年2月期中間期 548百万円 2025年2月期 638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	0.00	0.00	0.00
2026年2月期	0.00		
2026年2月期(予想)		—	—

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注2）2026年2月期の期末及び合計の配当金額は未定であります。

3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,417	△8.1	11	△10.4	13	△20.1	7	△72.1	6.02

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注2）エコテック株式会社の連結子会社化に伴う影響は精査中であります。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年2月期中間期	1,218,000株	2025年2月期	1,218,000株
2026年2月期中間期	一株	2025年2月期	一株
2026年2月期中間期	1,218,000株	2025年2月期中間期	1,218,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間会計期間（2025年3月1日～2025年8月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより景気の穏やかな回復の兆しが見られた一方で、米国の通商政策による経済活動への影響や、生活必需品を中心とした物価高により個人消費が力強さを欠くなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

こうした状況の下、当社におきましては、中小パチンコホールが廃業等により減少していく中、廃棄物の回収において同業他社との価格競争が激化しており、回収状況は厳しい状況にあります。

これらの結果、売上高は1,136,525千円（前年同期比17.4%減少）、営業損失は77,966千円（前年同期は営業利益33,389千円）、経常損失は74,639千円（前年同期は経常利益34,714千円）、中間純損失は89,938千円（前年同期は中間純利益36,747千円）となっております。

なお、当社は、遊技機リサイクル・リユースを主体とするリサイクル・リユース事業を行っており、単一セグメントであるため、セグメント別の業績等の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当中間会計期間末における流動資産の残高は1,274,763千円で、前事業年度末に比べ95,417千円増加しております。主な増加要因は現金及び預金の増加185,410千円等、主な減少要因は売掛金の減少44,075千円、未収還付法人税等の減少20,036千円、原材料及び貯蔵品の減少11,878千円等であります。

（固定資産）

当中間会計期間末における固定資産の残高は442,442千円で、前事業年度末に比べ10,922千円減少しております。主な減少要因は建物（純額）の減少53,162千円、機械及び装置（純額）の減少15,986千円等、主な増加要因は繰延税金資産の増加47,053千円、保険積立金の増加20,900千円等であります。

（流動負債）

当中間会計期間末における流動負債の残高は467,300千円で、前事業年度末に比べ67,077千円増加しております。主な増加要因は1年内返済予定の長期借入金の増加35,508千円、未払費用の増加16,316千円等であります。

（固定負債）

当中間会計期間末における固定負債の残高は701,742千円で、前事業年度末に比べ107,355千円増加しております。主な増加要因は長期借入金の増加112,679千円等であります。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産の残高は548,163千円で、前事業年度末に比べ89,938千円減少しております。減少要因は中間純損失89,938千円の計上による利益剰余金の減少であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は1,002,709千円（前事業年度末比185,410千円増加）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は68,971千円となりました。主な増加要因は減損損失62,159千円、売上債権の減少額51,823千円、減価償却費23,485千円、法人税等の還付額20,036千円等、主な減少要因は税引前中間純損失の計上136,798千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は23,609千円となりました。主な減少要因は保険積立金の積立による支出22,917千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は140,048千円となりました。増加要因は長期借入れによる収入275,000千円によるものであり、主な減少要因は長期借入金の返済による支出126,813千円等によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、遊技機業界への客足は緩やかに回復し、新台への入替えに伴う廃棄台処理需要も徐々に回復してくるものと思われます。

当社は、サーキュラーエコノミーへの転換における循環ビジネスへの一翼を担う企業として、遊技機リサイクル・リユース事業のみならず、他業界の企業との業務提携や取引展開等を積極的に推進し、事業領域の拡大と持続的成長のための機能強化・基盤強化に取り組んでまいります。

2026年2月期の業績予想につきましては、2025年4月14日に公表した数値に変更はありません。なお、当社は2025年9月30日付でエコテック株式会社を連結子会社化し、2026年2月期より連結決算に移行する予定であります。これに伴い、エコテック株式会社の2025年10月から2026年2月までの5ヶ月分の損益計算を2026年2月期の連結損益計算書において連結する予定であります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年 2 月 28 日)	当中間会計期間 (2025年 8 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	817,299	1,002,709
受取手形	1,600	—
売掛金	233,987	189,911
電子記録債権	26,811	20,663
製品	13,556	15,181
原材料及び貯蔵品	35,241	23,363
未収還付法人税等	20,036	—
未収消費税等	8,424	—
前払費用	19,949	23,051
その他	3,647	286
貸倒引当金	△1,208	△404
流動資産合計	1,179,346	1,274,763
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	132,359	79,196
構築物（純額）	4,938	2,493
機械及び装置（純額）	135,105	119,118
車両運搬具（純額）	7,293	5,644
工具、器具及び備品（純額）	17,810	14,667
リース資産（純額）	9,148	10,040
建設仮勘定	1,595	1,595
有形固定資産合計	308,250	232,757
無形固定資産		
ソフトウェア	9,509	7,658
その他	1,180	1,180
無形固定資産合計	10,689	8,838
投資その他の資産		
長期前払費用	1,800	1,520
保険積立金	29,819	50,719
敷金及び保証金	61,059	59,826
繰延税金資産	41,319	88,372
その他	426	406
投資その他の資産合計	134,424	200,846
固定資産合計	453,365	442,442
資産合計	1,632,711	1,717,206

リサイクルテック・ジャパン株式会社 (185A)
2026 年 2 月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)
(単位：千円)

	前事業年度 (2025年 2 月28日)	当中間会計期間 (2025年 8 月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,062	53,685
1 年内返済予定の長期借入金	224,520	260,028
リース債務	4,905	4,389
未払金	70,949	59,963
未払費用	26,274	42,591
未払法人税等	—	63
未払消費税等	—	4,141
契約負債	4,117	12,936
預り金	5,402	15,260
賞与引当金	14,440	13,634
その他	550	607
流動負債合計	400,222	467,300
固定負債		
長期借入金	523,075	635,754
リース債務	5,203	6,713
退職給付引当金	31,035	32,581
資産除去債務	31,358	25,663
その他	3,714	1,029
固定負債合計	594,386	701,742
負債合計	994,609	1,169,043
純資産の部		
株主資本		
資本金	77,518	77,518
資本剰余金		
資本準備金	2,518	2,518
資本剰余金合計	2,518	2,518
利益剰余金		
利益準備金	6,801	6,801
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	551,262	461,324
利益剰余金合計	558,064	468,126
株主資本合計	638,101	548,163
純資産合計	638,101	548,163
負債純資産合計	1,632,711	1,717,206

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年 3 月 1 日 至 2024年 8 月 31 日)	当中間会計期間 (自 2025年 3 月 1 日 至 2025年 8 月 31 日)
売上高	1,376,106	1,136,525
売上原価	1,126,167	991,617
売上総利益	249,938	144,907
販売費及び一般管理費	216,549	222,874
営業利益又は営業損失 (△)	33,389	△77,966
営業外収益		
受取利息及び配当金	83	853
受取賃貸料	6,248	5,183
保険解約返戻金	—	1,798
その他	779	603
営業外収益合計	7,112	8,440
営業外費用		
支払利息	4,983	4,822
支払保証料	391	279
その他	413	10
営業外費用合計	5,787	5,112
経常利益又は経常損失 (△)	34,714	△74,639
特別損失		
減損損失	—	62,159
特別損失合計	—	62,159
税引前中間純利益又は税引前中間純損失 (△)	34,714	△136,798
法人税、住民税及び事業税	19,484	193
法人税等調整額	△21,517	△47,053
法人税等合計	△2,032	△46,859
中間純利益又は中間純損失 (△)	36,747	△89,938

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年 3 月 1 日 至 2024年 8 月 31 日)	当中間会計期間 (自 2025年 3 月 1 日 至 2025年 8 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失 (△)	34,714	△136,798
減価償却費	25,304	23,485
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,958	△804
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△806
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,805	1,546
受取利息及び受取配当金	△83	△853
支払利息	4,983	4,822
減損損失	—	62,159
売上債権の増減額 (△は増加)	111,543	51,823
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△12,404	10,252
未収消費税等の増減額 (△は増加)	37,744	8,424
仕入債務の増減額 (△は減少)	53,788	4,622
未払金の増減額 (△は減少)	△1,610	△7,334
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,807	4,141
その他	786	27,786
小計	256,419	52,467
利息及び配当金の受取額	68	853
利息の支払額	△5,037	△4,385
法人税等の支払額	△193	—
法人税等の還付額	96,073	20,036
営業活動によるキャッシュ・フロー	347,329	68,971
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	20,039	—
有形固定資産の取得による支出	△22,736	△5,908
保険積立金の積立による支出	△3,176	△22,917
その他	△815	5,216
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,689	△23,609
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	275,000
長期借入金の返済による支出	△137,501	△126,813
長期未払金の返済による支出	△5,345	△4,957
リース債務の返済による支出	△3,450	△3,181
配当金の支払額	△13,398	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,304	140,048
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	380,944	185,410
現金及び現金同等物の期首残高	715,869	817,299
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,096,814	1,002,709

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社は、主に遊技機のリサイクル・リユース事業を行っており、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

（取得による企業結合）

当社は、2025年9月25日開催の取締役会決議に基づき、同日付でエコテック株式会社の発行済株式を100%取得し、子会社化いたしました。

1. 企業結合の概要

（1）被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	エコテック株式会社
事業の内容	情報通信機器の産業廃棄物処理及びリサイクル事業

（2）企業結合を行った主な理由

当社は、2025年4月より、新たな事業領域としてOA機器のリサイクル・リユース事業に参入しました。現在、当社はOA機器の買取・再販を主軸としているのに対し、エコテック株式会社は主に情報通信機器の産業廃棄物処理及びリサイクル事業を展開しており、本件によって当社グループにおいてOA機器のリユース・リサイクル事業を完結・拡大することが可能となり、強固な事業基盤の確立、さらなる企業価値の増大を図ることができると考えております。

（3）企業結合日：2025年9月25日（みなし取得日 2025年9月30日（予定））

（4）企業結合の法的形式：現金を対価とする株式取得

（5）結合後企業の名称：エコテック株式会社

（6）取得する議決権比率：100%

（7）取得企業を決定するに至った主な根拠：当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金 230,000 千円
取得原価	230,000 千円

3. 主要な取得関連費用の内訳及び金額

仲介手数料等 21,000千円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその内訳

現時点では確定しておりません。